

一九七三年度アマチュア個人ロード選手権を獲得したのは、ポーランドのスズルコウスキー（ポーランド）'46生、検査係、既婚、体重75 kg、身長173 cm、比体重43.3、趣味・サイクルツーリング、デビュー'65、トレーナー！ツェラズノウスキーだった。

彼は東欧圏最大のステージレースである「平和レース」に三回総合優勝しているつわもので、インターナショナルクラスのビッグレースには常に優勝候補のリストにのっていた。その実力をものすごくハードなバルセロナのコースで結実させ、待望のチャ

ンピオンジャージをものにした。三ヶ国から出場した選手は、一六一名にのぼった。長くきびしい登坂と、暑さが選手達を苦しめた。走路面はあまり良好とはいえず、第一周目にして、優勝候補のオランダ人、デン・ヘルトフ（オランダ）電気技師、

'72ツールドアブニール優勝、体重74 kg、身長184 cm、比体重40.2が穴に落ち、優勝圏外にしりぞいてしまった。回復のチャンスが望めぬとみてか、早々にリタイアしてしまった。序盤ではしばしばこうしたトラブルが起るようで、アクシデントに巻きこ



'73世界選手権の顔

アマチュア個人ロードの記録から

千葉 洋三

まれぬためには、なにがなんでも前の良い位置にしなければならぬ。

すきあらば逃げ出そうとする選手達の目論もなんとなく判るような気がする。そうすることが身の安全と、第一の眼目である、チャンピオンになるための最短距離を走っていることになるのだから。二五キロ地点でポーランドのミトニクとチリーのサラスが大集団から逃出しを試みた。きまらずまた集団にのまれてしまった。グループができたのは四〇キロ地点。トップグループの一七名は、六〇秒の先行を確定してしまった。

このスピードのエリート達の面々は、ポーランドのスツオグ（ポーランド）'50生、技師、体重68 kg、身長173 cm、比体重39.3、趣味・サイクルツーリング、'67デビュー、トレーナー・トロヤノウスキー、'74平和レース優勝マツジャク、スズルコウスキー、ミトニク。チェコのマトセク。スイスのシェールとシュミット。デンマークのハンセンとプロザン。西ドイツのターレル。（西ドイツ）'72クロスカンントリー・ワールドチャンピオン・スエーデンのフィアルント。ノルウェ

ーのクヌートセン。ヘ(ノルウェー)50生、機械工、既婚、娘一人、趣味・レーシングサイクル、'66デビュー・トレイナー・ジョンソン、'72ミューンヘン、'73サンセバスチャンパーシユート優勝'74プロデビュー、体重80kg、身長182cm、比体重44.0イタリアのバロンセリ。(イタリア) '73ツールドアブニール優勝者の兄と思われる。兄弟とも'74プロとしてデビュー・イギリスのハーラム。(イギリス) '48生、歯科医師、体重82kg、身長190cm、比体重43.1、趣味・音楽とダンス、'64デビュー、トレイナー・ノーマン・シユイル、'73サンセバスチャン・チームパーシユート二位スペインのマルティネス。オーストリアのシユタインマイヤー。フランスのブーロ。この中から七六キロあたりで、ハーラムが離れ、つづいてシユミット、ミトニク、シユタインマイヤー等が置いていかれてしまった。一三名にしぼられたトップグループから、デンマークのプロザンが逃げようとしたためしてみたが一人ではうまくいかず、八〇キロ地点で独走をやめてしまった。このあたりでトップグループは二分ほどの先行。一〇〇キロ地

点で、再びプロザンがエスケープを試みた。さそいにのつたのは、スズルコウスキー、スツオダ、ブーロの三名で、このカルテットが二〇秒先行した。後続のグループにはシユール、ハンセン、マツジャク、クヌートセン、マルチネス、ターレル、フィアルント、マトセク、バロンセリ。さらに一分遅れてフィランドのニコルソン。コロンビアのパコン、ポーランドのハヌシク、ソヴィエトのリカチヨフ(ソヴィエト) '47生、体重73kg、身長176cm、比体重41.4、'72ミューンヘン・チームロード優勝等が続いた。第八周目(一〇〇キロすぎたあたり)に入って、第二グループのマツジャクがただひとりとトップグループを追ったが、とどかずじまいに終わった。第三グループからはハンヌスが追いあげ成功して、マツジャク達の第二グループに入ってきた。

一〇〇キロあたりから、一周遅れのためジュリーから止められてしまふ選手達が出てきた。そうした選手のなかには、ミューンヘンの銀メダリスト、クライド・セフトンヘ(オーストラリア) '51生、大工、体重68kg、身長173cm、比体重39.3、'62デビュー、トレーナー・キース・レイノルズ、趣味・レーシングサイクルのような強者も入っていた。アクシデントに巻きこまれて遅れをとってしまったのだろうか、一周遅れのくやしさと、情けなさを背負って、ポタリングペーシングでピットに帰ってくる。トップのクアルテットの方はそんなことにおかまいなく、どんどん水をあけていった。一三五キロをすぎて、三分四五秒の先行となつてしまった。トップグループ形成の原動力となったデンマークのプロザンは大分疲れたようだし、ポーランドのスズルコウスキーにせよスツオダにせよ一見力がなくなってきたかに見えたのだが、第二グループとの差はひらく一方。それでもマツジャク、ハンヌス、バロンセリの三人が第二グループから飛び出て前のクアルテットを追った。そのあとには、パコン、サマカ、マトセク、ハヌシク、ターレルのクインテットが続いた。

十周目の半分(一四二キロ)あたりで日本の森選手はカルテットにつかまってしまった。

この周回のこすところ七キロをどうにかやりすごせば、完走できる目も立ったのだが、彼

ルトフ(オランダ)電気技師、ようで、アクシデントに巻きこデンのフィアルント。ノルウェ

▶在庫品の御紹介
 サンプレックスシートピラー φ26.8 ●アトム66フリー14×15×17×19×21 14×15×17×19×21×24 ●ベロックスバンクセットチューブラー用 ●カンパブレーキゴム ●Vita- $\frac{3}{32}$ のチェン ●レノルド $\frac{3}{32}$ のチェン ●サンプレックスLJ ●オニツカレーサーシューズ
▶オーダー受注用小物
 サンプレックスストレートエンド ●カンパブレーズドオン用小物 ●サンプレックスレバー台座

船橋店 船橋市本町2-14-4 ☎0474-31-1188(代)
 千葉店 千葉市轟町1-11-14 ☎0472-51-1057
 勝田台店 八千代市勝田台1-18-5 ☎0474-83-3801
 初石店 50年4月1日オープン
 (水曜定休)

セオサイクル

のささやかにして最も希わしい望みを、強力男達はあっさり抜きさり、もぎとってしまった。

最終周回に入ってもトップグループはくずれなかった。四人

のうちポーランド人が二人残っているのだから、間拔けた失敗をしないかぎりマイヨール・アルカンシェールを手にするのは彼等のどちらかとなった。ゴール前二キロから始まる登坂で勝敗の行方は決った。ゴールまで一・五キロ、スズルコウスキーが逃げ出した。メカニカルなベダリングに加えるパワーが爆発して、三〇秒差をつけてのゴールイン。二、三、四位にはスツオダ、ブーロ、プロザンという結果だった。これでポーランドはチームロード優勝とあわせて、'73年度の世界選手権ロード部門をほぼ完璧に制覇した。

三分遅れて、またまたポーランドのマツジャクが入った。ゴール勝負でハンヌス、バロンセリをおさえたのだった。八位には最終周回をひとりで追い上げてきた西ドイツのオルケナヴィクスが、デンマークのハンセンをおさえた。十位から三五位までのグループは同タイムで、フイニッシュのスプリントをきめ

たのはベルギーのペータースだった。栄光の最下位はニュージーランドの代表選手で八四位だった。ほぼ半数は失格してしま

った。バルセロナのコースは一周ほぼ一五キロで、標高差のアップヒル部分だけの合計が一七〇メートルくらい。修善寺のコースに比べたらなんでもないだろうが、一八〇〇メートルの峠を登りつめることになる。殺人コースなどといわれ、ものすごくハードなコースという評判だった。そんな情報が入っていたので、いつも活躍するロードスプリンター達の出る幕はない。と想像をたくましくしていた。

結果はポーランドのスズルコウスキーという世界的なスピード・スタミナ型の名選手が勝ったわけで、そのこと自体がモンジュコースのハード振りを証明している。

日本からはほんとに久しぶりに三選手が出場した。国内のロードレースは数少なく、したがって競争も甘いようだ。修善寺で開かれた全日本のレースなど、二時間レース（六〇キロ）ばかりなので、平均的なアマチュア個人ロードの四時間レースには

とてもついていけないだろうと想っていた。日本代表のスピード・スタミナがどこまで通ずるか楽しみだった。結果は想像どう

り全員失格となった。ただスタミナのない森選手が十周目の半分以上もったのは驚きであり、うれしい予想はずれだった。これを期にさらに工夫しながら、トレーニングとレース経験を深めれば、日本選手の国際レースへの復帰が、まったくためでないことを証明してくれた。西欧、東欧のアマチュアレーサー達をバックアップする好状況に比べたら、日本のレーサー達はまったく恵まれていないが、そんなことにくよくよせず、あきらめずに、やるからには世界選手権を目標にしてもいい。アマチュアレースファンのひとりと

しては、まだあきらめてない。日本人の体つきにマッチした種目は、チームロードの二時間レース。クロスカントリの二時間レース。チームパーシユートレースあたりと思われる。タックチックやテクニクを要求される種目では、ボランシヤルな体力から考えても互格に戦えるようになるには、大変な出資と時間をついやすことになるだろう。

展示販売 一流内外パーツを手にとって御覧下さい

ヨーロッパの一流ロードレーサーと各社の部品用品を豊富に展示販売しています。
あなたのほしいものがきっとあるはずです。

チネリ・デローザ・メルシェ各ロードレーサー入荷
ロード用、ツーリング用各種フレーム

レニアーノロードレーサー／ゼウスロードレーサー／ロードフレーム／ユーレアルビルックス／ユーレジュビリー／トリプレックス／リオタークイルペダル／ミルレモクイックハブ／ノルマンディルックスクイックハブ／ミルレモ各種丸タイヤ／ニジー丸タイヤ用パイプリーム／フィアメ丸タイヤ用パイプリーム／スーパーチャンピオンWOLIM／カンパニョロ／サンプレックス／小物・備品 etc

各種スポーツ車オーダーメイド・改造

スポーツサイクル

シ ミ ズ

東京都港区芝大門2-8-11 ☎03-432-6025

